

診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ

愛知県がんセンター

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を
下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究責任者	原 和生
2. 研究課題名	EUS-CDSの偶発症に関連する危険因子
3. 研究の目的・方法	膵癌をはじめとする悪性腫瘍による胆管胆管、閉塞性黄疸はがん診療においてしばしば遭遇する合併症である。近年、悪性下部胆管閉塞におけるERCP (Endoscopic retrograde cholangiopancreatography) 困難例に対してEUS-CDS (Endoscopic ultrasound guided cholangioduodenostomy)が施行されている。EUS-CDSは標準化されつつある手技であるが、その安全性については議論の余地がある。本検討ではEUS-CDSの偶発症に関連する危険因子の検索を目的とした。下記対象症例の臨床経過について後方視的に検討した。 研究期間:平成30年8月3日から平成31年7月31日 (遺伝子解析:②行わない)
4. 研究の対象となる方	2003年12月から2017年7月までにEUS-CDSを施行された症例
5. 研究に用いる検体・情報の種類	検体名(なし) 診療情報内容(臨床経過)

- ① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当センターの倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。
個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。
また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。
- ② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

★お問い合わせ★

愛知県がんセンター 中央病院臨床試験部試験支援室
倫理審査委員会事務局
住所 : 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
FAX : (052-764-2963)
e-mail: irb@aichi-cc.jp

(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)